



2019年度

**大岡学園高等専修学校
農福連携実習**

コウノトリ育む農法～特裁の産地～



兵庫県豊岡市

1度絶滅した
コウノトリの野生復帰
に取り組んできた街

森・川・里・海の近接する自然豊かな
環境で、生き物も人も
いきいきと暮らし
支え合う
調和を大切に想う生産者がいます。

コウノトリも、人も。
いろんないのちがあふれる未来へ



コウノトリが日本の自然の中で生きていくためには、里山や田んぼ、川や水路にたくさんの生きものが暮らす環境が必要です。そして、コウノトリが暮らしている自然環境を「いいな、素敵だな」と思い、そんな環境を増やしていきたいと応援いただくみなさんの協力が必要です。

「コウノトリも、人も。」

コウノトリ野生復帰は、日本の未来を担ってまいります。

コウノトリと豊岡

かつて、日本で暮らしていたコウノトリは、昭和46年(1971年)兵庫県豊岡市を最後に日本の空から姿を消しました。兵庫県豊岡市は昭和40年(1965年)から人工飼育に取り組み、平成17年(2005年)初の放鳥に成功しました。そして、現在約100羽のコウノトリが日本の空を悠然と舞っています。豊岡はこれからもコウノトリの生息地保全に努めていきます。

コウノトリってどんな鳥?

体長が1.1m、羽を広げると2mにもなる大型の鳥です。体重は4~5kg、魚をはじめカエル・バッタなどの生きた小動物を餌とします。大食漢で、飼育下では1日に約500gもの餌を食べます。コウノトリが生きていくためには生きものの豊かな自然が必要です。



無農薬栽培に励む若者農業者たちとコラボ



無農薬ニンジン



八代オクラ（固有種）



コウノトリ育む米



進美（しんめい）なす（固有種）



農業実習

ねらい： 但馬地方の特徴ある農産物の栽培から収穫・調理・販売までの体験を通して、
学生たちの将来の経済的自立につながる経験を積む

第1回 2019年7月26日

「黒ボク土栽培のジャガイモの収穫」



第2回 2019年11月20日

「雪室ソバの実 選別作業」



第3回 2019年1月22日

「実習農園無農薬野菜の調理」



2020年度 新たな取り組み～遊休地活用した固有種野菜～

大岡学園高等専修学校と地元若者生産者のコラボ



生産から販売まで



八代オクラ



地域の在来・固有種



しんめいナス

遊休地



2020年夏～秋 出荷予定

目標生産数量

八代オクラ： 2t

しんめいナス： 1t



心を込めた作物を:

提供価値



希少な固有種

今だけ
ここだけ
あなただけ



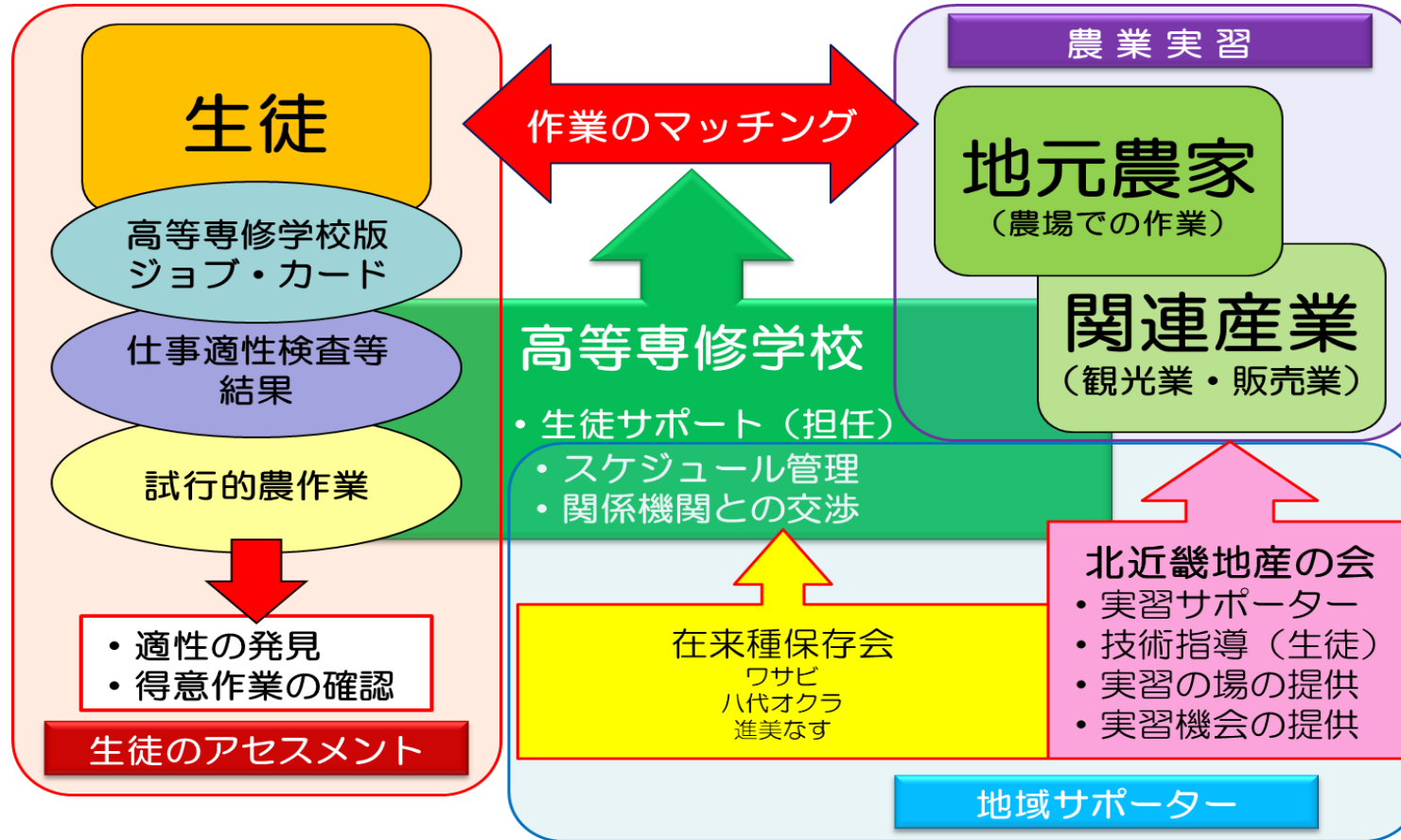
有機栽培

安心と安全
生産者も
お客様も



地元 & 都市部での販売

新鮮な
旬を
迅速に



※『地域サポーター』内JAとの連携から在来種保存会との連携へ。

今回協力いただいた主な農家及び農業法人

- ・ 楽農や～Teams～ 由良大氏
- ・ 豊岡エコファーマーズ 根岸謙治氏
- ・ 北村わさび 北村宜弘氏
- ・ 八代オクラ農家 吉岡亮氏

The image shows four green okra (ladyfinger) vegetables arranged on a light-colored wooden surface with visible grain. The okra are positioned diagonally across the frame. Overlaid on the center of the image is the Japanese text 'ご清聴ありがとうございました' (Thank you for listening) in a large, black, sans-serif font. The text is split across two lines: 'ご清聴ありがとうございました' on the top line and 'うございました' on the bottom line. There are two soft, yellowish circular highlights on the image, one on the left and one on the right, partially overlapping the okra and the text.

ご清聴ありがとうございました
うございました